第19回日本小児·思春期糖尿病研究会年次学術集会

日 時 2013年7月14日(日) 8:30~15:40

会場 TKPガーデンシティー品川『ボールルーム ウェスト』

東京都港区高輪3-13-3 SHINAGAWA GOOS 1F Tel 03-5449-7300

プログラム

~ 小児・思春期糖尿病の実臨床を追って ~

(敬称略)

08:30-08:35 開会の辞 (第19回会長) 駿河台日本大学病院 小児科 浦上 達彦

08:35-08:45 本研究会の目的と今後の取り組みについて

日本小児·思春期糖尿病研究会 理事長 (埼玉医科大学 小児科) 雨宮 伸 日本糖尿病学会小児糖尿病委員会 担当理事 (NTT東日本東北病院) 佐藤 譲

08:45-09:40 **一般演題 Session 1 <疫学·管理>** (発表7分·討論3分)

《座長》 岡田内科クリニック 岡田 朗 福岡市立こども病院・感染症センター 内分泌・代謝科 都 研一

1-1 鎌倉周辺に集中的な発症をみた1型糖尿病の5学童例

湘南鎌倉総合病院 小児科 渡辺 能久

1-2 学校検尿を契機に診断された糖尿病症例の検討

県立広島病院 小児科 神野 和彦

- 1-3 学童期のインスリン抵抗性と脂質・リポ蛋白パラメータとの関係について: コホート解析 獨協医科大学 小児科 刈屋 桂
- 1-4 東海地区小児糖尿病サマーキャンプで施行した災害時対応のシミュレーション学習 国立病院機構三重病院 小児科 貝沼 圭吾
- 1-5 インスリンポンプとグラルギン併用療法の有用性の検討

大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 広瀬 正和

09:40-10:25 一般演題 Session 2 〈免疫·遺伝子〉 (発表7分·討論3分)

《座長》 大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学 今川 彰久 国立成育医療研究センター 内分泌・代謝科 堀川 玲子

2-1 肝移植後にシクロスポリン(CyA)が長期投与されている抗GAD抗体陽性糖尿病患者

山梨県立中央病院 小児科 齋藤 朋洋

2-2 小児発症1型糖尿病の診断時におけるIA-2抗体、GAD抗体の検討

日本大学医学部 小児科学系小児科学分野 羽生 政子

2-3 年長同胞の有無,離乳食開始時期は 1 型糖尿病の発症の低年齢化と関連する

独立行政法人 国立成育医療研究センター 分子内分泌研究部 綾部 匡之

2-4 新生児糖尿病発症を契機に発見されたABCC8遺伝子異常を伴う糖尿病の一家系

富山県立中央病院 内科(内分泌・代謝) 島 孝佑

10:25-11:10 **一般演題 Session 3 〈CGM〉** (発表7分·討論3分)

《座長》 東京都済生会中央病院 糖尿病・内分泌内科 島田 朗獨協医科大学 小児科 有阪 治

3-1 当科における持続血糖モニター(continuous glucose monitoring: CGM)による 血糖コンロール評価の実施状況

福岡市立こども病院・感染症センター 内分泌・代謝科 虫本 雄一

3-2 小児1型糖尿病33例におけるCGMの有用性

国立成育医療研究センター 内分泌代謝科 服部 淳

- 3-3 CGMSを用いた若年発症1型糖尿病患者の血糖変動におけるADRR指標の検討 東京女子医科大学糖尿病センター 内科 三浦 順之助
- 3-4 ケトン性低血糖を契機に糖尿病が疑われ、持続グルコースモニタリング(CGM)が診断 に有用であったグルコキナーゼ異常症(MODY2)の1男児例

埼玉医科大学病院 小児科 武者 育麻

11:10-11:55 **一般演題 Session 4 <2型糖尿病>** (発表7分·討論3分)

《座長》 東京女子医科大学 糖尿病センター 内潟 安子 横浜市立みなと赤十字病院 小児科 菊池 信行

4-1 昼夜逆転の生活の改善と食事指導により劇的にHbA1cが低下した2型糖尿病の10歳 男児例

東北大学大学院医学系研究科 発生・発達医学講座 小児病態学分野 上村 美季

- 4-2 肝機能障害を持つ2型糖尿病患者におけるメトホルミン内服後の肝機能の推移について 横浜市立大学附属市民総合医療センター 小児総合医療センター 菅原 秀典
- 4-3 小児2型糖尿病に対してエキサナチドを使用した2例の経験

医療法人住友別子病院 小児科 竹本 幸司

4-4 メトホルミンにリラグルチドの追加が有効であった小児2型糖尿病の一例

旭川医科大学 小児科 古谷 曜子

- 11:55-12:05 Break (お弁当/お茶をご用意いたします)
- 12:05-12:50 ランチョンセミナー 『基礎インスリンの補充を考える』

《座長》 東京女子医科大学東医療センター 小児科 杉原 茂孝

《演者》 駿河台日本大学病院 小児科 浦上 達彦

12:50-13:10 Coffee break

13:10-14:00 特別講演 『1型糖尿病の成因と発症進展阻止』

《座長》 埼玉医科大学 小児科 雨宮 伸

《演者》 山梨大学医学部 内科学講座 第3教室 小林 哲郎

14:00-15:35 シンポジウム 『いかに小児1型糖尿病を治療すべきか?』

《座長》 大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 川村 智行 東京慈恵会医科大学 内科学講座 糖尿病·代謝·内分泌内科 西村 理明

(各18分×4講演)

1. 乳幼児期 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 小児内分泌・代謝内科 横田 一郎

2. 学童期 山梨大学大学院医学工学研究部 小児科 小林 基章

3. 思春期から成人へ 南昌江内科クリニック 南 昌江

4. 実際の治療のアイデア 徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター 黒田 暁生

総合討論(20分)

15:35-15:40 閉会の辞 (第19回会長) 駿河台日本大学病院 小児科 浦上 達彦

(敬称略)

【役員会 〔出席者〕理事・評議員・監事】 * 学術集会終了後に開催

● 日時:2013年7月14日(日)15:45~16:45

● 会場:TKPガーデンシティー品川 1F 『アネモネ』

東京都港区高輪3-13-3 SHINAGAWA GOOS 1F Tel 03-5449-7300

【学会認定単位】 日本糖尿病学会専門医認定更新単位 3単位認定

日本小児科学会専門医認定更新単位 4単位認定

日本糖尿病療養指導士認定更新単位 2単位認定(第2群)

≪共催≫ 日本小児・思春期糖尿病研究会 ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

≪後 援≫ 一般社団法人 日本糖尿病学会